

2030 年世界連邦政府設立のための

Next Renaissance 地球市民会議発足準備委員会の発足について

1. 設立趣旨
2. 活動計画

2030年世界連邦政府設立のための
Next Renaissance 地球市民会議発足準備委員会
設立趣旨文

コロナパンデミックが生み出した冷たさと疲れは、精神文明への急激な進化を希求しています。このパンデミックは、AI時代が生み出した尊厳の危機とも重なったことで、バブル知識、バブル関係、バブル意識、バブル教育、バブル経済など、あらゆるジャンルのバブルを破壊し、これまでの西洋発の学問や教育の終焉も激しく露呈しました。これまでの社会秩序は急激に崩壊し、アフターコロナ、with コロナ、ポストコロナと叫ばれる中、コロナ以降の羅針盤となるグローバルな未来文明の方向と方針を示すリーダーシップは、世界のどこにも見える兆しがありません。

文明の中心でもあったアメリカの覇権時代も終焉し、次の覇権競争とともに国家間競争を土台にしたグローバル社会の停滞に対し、「人類は世界や地球レベルで新たな協調関係を生み出せるのか」というパンデミックの強烈な問いに、私たちはどのような回答ができるのでしょうか。

このパンデミックの危機に終わりを告げる技術、認識技術は既に日本で完成しています。これは700万年もの間、停滞していた精神文化を進化させ、飛躍的なチャンスに転換する歴史最高の技術であり、ポスト科学技術時代をリードする新技術です。

人類には他の動物には真似ができない文化DNAがあります。この文化DNAは、人類が地球上の多くの動物に勝って、進化発展を遂げられた理由でもあり、限界でもあります。この文化DNAが持つ限界を完璧に補い「新たな文化DNA」として完成させ、人類のメガ進化を成し得る技術が認識技術です。

そんな技術であるならば、基軸通貨による金融中心の世界秩序や覇権戦争、貧富の格差、環境破壊など、とめどなく続いた人間同士の摩擦、葛藤、戦争に終止符を打ち、人間ひとり一人の最高の機能である尊厳性を発揮させ、意味共有、価値共有、基準点共有、システム共有を容易にする精神文明を明確に開かなければなりません。

本委員会では、この時代に人間は何を知り、何をを行い、何を希望すべきなのか、そして、人間をどのように再定義すべきなのかを起点に、国家、民族、宗教、性別、権力、財産などの相対的な差異を超えて、誰もが共通に学べる教育、すなわち世界基軸教育の定立を促す「Dignity2.0 国際カンファレンス」を実施します。そして、グローバルスタンダードな教育の胎動を通して、地球市民としての意識の開闢を推進、促進、リードします。

コロナパンデミックが生み出す心の不安時代、また人間のIQを完璧を超えるAI時代を迎えた今、この時代に相応しい人間の品格、尊厳、活力、基本的ライフスタイルを積極的に具現化する財政政策、教育政策の展開が不可欠です。国家や政府は、これらの具現化を通して存在意義を証明しなければなりません。

しかし、ひとり一人の地球市民は、政府による政策制度をじっと待つのではなく、目覚めた個人として積極的な市民活動の展開が必要だと考えます。

人類共通の未来のために、これらの解決課題に対して世界的、時代的な合意がある「地球市民の共同実践路線（基準軸）」を明確にする世界基軸教育の実現とともに、世界連邦政府設立および世界平和具現のた

めの「Next Renaissance 地球市民会議発足準備委員会」の設立をここに宣言致します。

2.活動計画

○年次計画

2021 年 AI 時代の教育 Vision の発表

2022 年 AI 時代の経済 Vision の発表

2023 年 AI 時代の政治・文化・芸術 Vision の発表

2025 年 民間主導の世界連邦政府設立研究会準備委員会設立

2030 年 世界連邦政府設立

○本年の計画

5 月 第 1 回 Next Renaissance 地球市民会議

6 月 第 2 回 Next Renaissance 地球市民会議

8 月 第 3 回 Next Renaissance 地球市民会議

9 月 第 4 回 Next Renaissance 地球市民会議

10 月 Dignity2.0 国際カンファレンス

○国際カンファレンスについて

<要綱>

AI 時代の地球市民は何を知り、何をし、何を希望すべきなのか、そして人間をどのように再定義すべきなのかの AI 時代の教育 Vision の発表を本カンファレンスにて実施する。

<詳細>

本カンファレンスでは、

- ・パンデミック以降の To live Best な生き方
- ・キングダムストーリー大会
- ・世界基軸教育がなぜ必要なのか
- ・クリティカルブレイクスルーテクノロジー (CBT)
- ・知の World Cup

など多様な企画を準備しています。

また、世界基軸教育をテーマに論文の一般公募を開始し、カンファレンス内での表彰式なども開催予定です。

<その他>以下 HP より

Dignity2.0 国際カンファレンス (<http://jp.dignity2.org/wp/>)

<後援>

令和教育財団 (<http://www.reiwa-ef.com/wp/>)

JeiGrid 株式会社 (<http://jeigrd.co.jp/>)